

気流可視化装置(ACV-502A)

取扱説明書

この度は、CLEAN VIEWER（純水ミスト気流可視化装置）をお求め頂き誠にありがとうございます。
ます。

- ・ この取扱説明書をよく読まれまして、正しくご使用下さい。
- ・ 製品の知識、安全の情報、そして注意事項の全てに習熟してからご使用下さい。
- ・ 本説明書は、CLEAN VIEWER の近くに置き、常に利用して下さい。
- ・ 本装置の運転管理者を必ず定めて頂き、事故・異常等が発生した場合は、直ちに管理者へ報告して下さい。

もくじ

1. はじめに	1
2. 製品受け入れ時のご注意	1
3. 安全上のご注意 (必ずお読み下さい)	1-2
4. 標準構成品	3
5. 仕様	3
6. 各部の名称	3
7. 運転	4-5
8. 保証期間	5
9. 異常とその対処	5
10. オプション	6
11. 連絡先	7

1. はじめに

CLEAN VIEWER(純水ミスト気流可視化装置)は、超音波振動子によって純水ミストを発生させ、清浄空間内の気流を可視化する装置です。安定した性能で安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解された上、ご使用下さい。また、不明点等ございましたらお問い合わせ頂きますよう、お願い致します。

2. 製品受け入れ時のご注意

- ①輸送中に破損した箇所がないか、確認して下さい。
- ②ご注文通りの製品か、確認して下さい。
- ③製品の製造・梱包・出荷には細心の注意を払っておりますが、万一不都合な点がございましたら、受領後にご連絡下さいますようお願いいたします。なお、ご使用になられた場合及び改造等された場合は、補償対象外となりますので、ご了承下さい。

3. 安全上のご注意～必ずお読み下さい。

- ・『安全上のご注意』には、使用上の安全に関する重要な説明が記載されています。
注意事項、警告内容は必ずお守り下さい。
- ・本書では、安全注意ランクを「危険」「注意」として示しています。

安全事項ランクの定義

表 示	意 味
 危険	取扱を誤った場合に危険な状態が起きえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
 注意	取扱を誤った場合に危険な状態が起きえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

①据付上の注意事項

-  **注意** 吸い込み部を塞がないように据え付けて下さい。
 - ・ 吸い込み空気量が少ないと清浄化能力及び吹出風速が低下します。
-  **注意** 次のような場所で使用すると、故障の原因となりますので避けて下さい。
 - ・ 低温や高温になるところ。(0～35℃の範囲可)
 - ・ 湿気が多く、結露するところ。
 - ・ 発塵が多いところ。油煙や湯気のあたる場所。屋外。
 - ・ 特殊な場所への据え付けは、代理店または弊社営業所にご相談下さい。

 **ご注意** 配線作業は、専門業者が行う。

- ・ 感電の恐れがあります。

 **ご注意** 電源の仕様確認

- ・ 装置の定格電圧と入力電源の仕様が合っていることを確認して下さい。電気部品の焼損・発火の恐れがあります。

②使用上の注意事項

 **危険** 機器の充電部に触れることにより、感電することがあります。

- ・ メンテナンス時は、電源コードを抜いてから行って下さい。

 **危険** 電気部品は濡れた手で触れないで下さい。感電することがあります。

 **危険** ファンの運転中に吸込口へ手や物を入れないで下さい。

- ・ 破片が飛び散ってケガをすることがあります。

 **ご注意** 1 分間以内の ON/OFF をしない。

- ・ 電源を 1 分間以内に電源 ON/OFF の繰り返しをすると、モーター加熱の原因となり、火災の恐れがあります。ご注意下さい。

 **ご注意** 電装品には触れない。

- ・ 装置内部の電装部品には触れないで下さい。やむを得ない場合は、電源コードを抜いてから行って下さい。

 **ご注意** 改造は絶対にしないで下さい。

- ・ 感電事故、火災、その他の事故、性能低下の原因となる恐れがあります。

 **ご注意** フィルターの濾材には触れない。

- ・ メインフィルターの濾材には絶対に触れないで下さい。破損して粒子や菌が漏れる恐れがあります。
- ・ 吸込量が少なくなり、風量が低下します。

③修理等の注意事項

 **ご注意** 弊社サービスマン以外の人には絶対に分解したり、修理を行わないで下さい。

- ・ 異常動作によるケガ、火災、感電等の原因となります。

 **ご注意** 異常時は運転を停止し、電源を切り、代理店または弊社へご連絡下さい。

- ・ 異常のまま運転を続けると、火災や感電の原因となります。

4. 標準構成品

1. CLEAN VIEWER 本体 1 式
2. 導霧パイプ(1m) 1 本
3. 多孔ノズル(30cm、4φ穴) 1 本
4. 標準ノズル・延長パイプ(30cm) 各 1 本
5. 電源コード(3.9m) 1 本
6. 本体カバー・標準セット収納袋 各 1 枚
7. 1000cc ポリタンク・ロート 各 1 個
8. 取扱説明書 1 部

5. 仕 様

機 種	CLEAN VIEWER(クリーンビューワー)
型 番	ACV-502A
ミスト発生量	MAX 0.15 L/hr
風 量	可変 0~40 L/min
電 源	AC100V
消 費 電 力	32W(70VA)
温 度 条 件	18℃~28℃(屋内環境)
保 護 装 置	フロートスイッチにより、低水位時に発振停止し空焚運転防止
フ ィ ル タ ー	0.3μm 99.97%(大気塵)以上
本 体 重 量	約 5kg

※ 仕様は予告なく変更することがあります。

※ ノズル類のオプションとして

三点吹出し型ノズル、延長パイプ(40cm)、120° エルボ、多孔ノズル、バイパス用 T 字管、2m 導霧パイプ等がございます。(6
頁参照)

※ フィルターのオプションとして 0.12~0.17μm、99.999%(大気塵)以上の ULPA フィルターがございます。

6. 各部の名称

添付図面を参照願います。

7. 運転

7-1 運転前の注意

ドレンプラグが、確実に締まっていることを御確認下さい。付属品のロートを給水口に差し込み、ポリタンクから純水を給水口より所定の水位(高水位線)まで給水して下さい。給水する際は、スイッチ及び風量コントローラーに水をこぼさない様、注意して下さい。電気部品が故障する可能性があります。次に電源コードを接続し、導霧パイプ、ノズルを本体に差し込んで下さい。

7-2 運転方法

運転は“運転スイッチ→ファンの風量調整”の順に行って下さい。

7-3 運転中の注意

■ 本体は水平に！

常に本体は水平になるように注意して下さい。

傾いたまま運転しますと超音波振動子の破損、純水漏れの原因となります。

■ ノズル、導霧パイプは立ち上げて！

ノズル、導霧パイプ内にはミストが凝集して、純水がたまります。運転中、休止時、終了時は必ずノズル先端が最も高い位置にくるように立ち上げて純水を本体内に戻して下さい。ノズル先端からの純水漏れや、導霧パイプの水封の原因となります。

水封、純水漏れの防止



※ 導霧パイプ内に純水がたまりまると純水漏れや、純水ミストが発生しなくなります。

随時、導霧パイプを立ち上げて本体タンクに戻して下さい。

■ ノズルからの水滴落下にご注意を！

水滴を落としてはならない場所での運転は、ご遠慮下さい。水滴が落下する恐れがあります。

ノズルの正しい使用方法



※ ノズル先端を下向きにしますと、水滴が落下する場合があります。必ず、上向きで使用して下さい。

またノズルの吐出方向を水平以上にすると、気流が見易く水滴落下の恐れも低下します。

■ 水位目盛に注意！

運転前及び運転中は、水位目盛のレベルに注意し、運転スイッチを切ってから適時給水して下さい。低水位フロートスイッチが作動しますと、ミストの発生は停止します。水位目盛のレベル以上に給水した場合、ミスト発生量は、減少します。

■ 風量調整に注意！

風量調整ボリュームの値がMINの際は、ミストが発生しません。(出荷時はMAXの状態となります)

風量を調整する際、MINまで下げない様、ご注意下さい。

7-4 給水時の注意

給水する際は、必ず運転スイッチを切ってから行ってください。スイッチを入れた状態で給水すると超音波振動子が破損し、ミストが発生しなくなります。

7-5 水温上昇に関する注意

本装置(クリーンビューワー:ACV-502)は、超音波振動子からの放熱で水槽内の水温が上昇します。初期水温を20℃とすると、25分間運転時において、水温が約40～45℃に上昇します。

更に水を補充し、連続運転した場合は、水温が50℃程度まで上昇致します。

発生するミストも水温と同等の温度になりますので、温度制限のある装置でのご使用の際は、ご注意下さい。

7-6 再運転時の注意

運転終了時にはノズル、導霧パイプ内の純水を完全に本体内に戻して下さい。純水が残ったまま運転しますと、ミストが出にくい為ノズルをよく振ってからご使用下さい。

7-7 初期水温に関する注意

初期水温が低い場合は、発生するミストが少なくなる場合がありますのでご注意下さい。推奨初期水温は、20℃です。

8. 保証期間

装置本体の構造的欠陥に起因する故障についての保証期間は納入日から2年間です(日本国内に限る)。保証期間を過ぎた場合及び保証期間中においても、取扱不良、改造による故障につきましては、有料修理となります。

9. 異常とその対処

異常時は下表を参照し、点検して下さい。

故障原因が不明な時、その他使用上ご不明な点がございましたら、弊社へお問い合わせ願います。

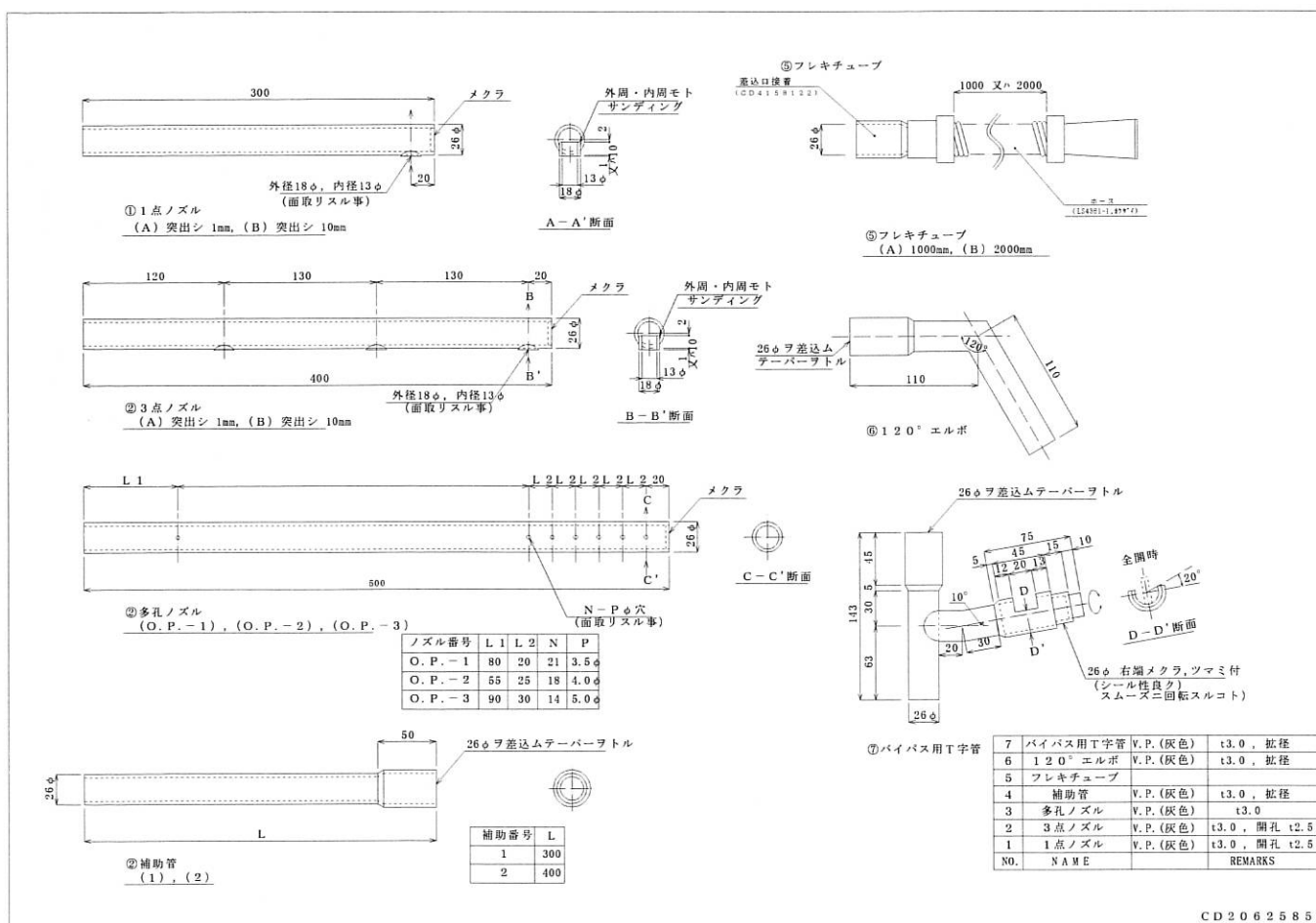
異常のまま使用しないで下さい。点検は電源を切ってから行って下さい。

ミストが 出ない 少ない		原 因	対 策
○		電源がきていない	接続する
○	○	正しい電圧がきていない	修正する
○		ヒューズが切れている	交換する
○		純水量が少ない	所定の水位まで給水する(高水位線)
○	○	純水量が多い	所定の水位まで排水する(高水位線)
○		導霧パイプ内の水封	導霧パイプを立ち上げ純水タンクに戻す
○		本体が水平でない	本体を水平にする
○	○	風量不足	風量コントローラーを上げる
○	○	フィルターの水濡れ	フィルターの乾燥、交換

10.オプション

図 番	名 称	仕 様
①	1 点ノズル(標準装備)	L=300mm (V.P)
②	3 点ノズル	L=400mm (V.P)
③	多孔ノズル	
	OP-1	L=500mm, 3.5φ (V.P)
	OP-2	L=500mm, 4.0φ (V.P)
	OP-3	L=500mm, 5.0φ (V.P)
④	補助管	
	1(標準装備)	L=300mm (V.P)
	2	L=400mm (V.P)
⑤	フレキチューブ	
	A(標準装備)	L=1,000mm
	B	L=2,000mm
⑥	120° エルボ	(V.P)
⑦	バイパス用 T 字管	(V.P)

オプションセット詳細図



CD2062585

11.連絡先

製造元

 **日本エアーテック株式会社**

 **AIRTECH JAPAN, LTD.**

本 社	〒110-8686 東京都台東区入谷 1-14-9 E-Mail info@airtech.co.jp	TEL 03-3872-6611 FAX 03-3872-6615
大阪営業所	〒531-0071 大阪府大阪市北区中津 1 丁目 11 番 11 号 (第 1 リッチビル)	TEL 06-6373-0473 FAX 06-6373-0827
名古屋営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1 丁目 18 番 11 号 (CK21 広小路伏見ビル)	TEL 052-219-7100 FAX 052-219-7200
仙台営業所	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 2 丁目 1 番 61 号 (タカノボルビル)	TEL 022-268-2881 FAX 022-268-2883
北陸営業所	〒930-0005 富山県富山市新桜町 4-28 (朝日生命富山ビル)	TEL 076-471-7752 FAX 076-471-7753
広島営業所	〒732-0825 広島県広島市南区金屋町 2 番 14 号 (アフロディテビル)	TEL 082-568-7522 FAX 082-263-1505
福岡営業所	〒815-0035 福岡県福岡市南区向野 2 丁目 12 番 8 号 (真鍋ビル)	TEL 092-553-1288 FAX 092-561-7284
南九州営業所	〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央 3 丁目 38 番 28 号 (ショーヤ 105 号)	TEL 0995-47-7422 FAX 0995-47-7433
草加工場	〒340-0002 埼玉県草加市青柳 2 丁目 10 番 20 号	TEL 048-936-3033 FAX 048-936-3307
サービスセンター	〒340-0002 埼玉県草加市青柳 2 丁目 10 番 21 号	TEL 048-936-3246 FAX 048-936-3199
加須工場	〒347-0032 埼玉県加須市花崎 5 丁目 12 番地	TEL 0480-67-0200 FAX 0480-67-0233
群馬工場	〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町 250 番 1 号	TEL 0270-63-3700 FAX 0270-63-3701

製品受け入れ時のお願い

この度は、当社製品をご採用頂き、有難くお礼申し上げます。

製品の運送には十分な注意を払っておりますが、万一の製品損傷につきましては受領後 3 日以内にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

尚、ご使用になられた場合及び、改造等された場合は、補償対象外となりますのでご了承下さい。

日本エアーテック株式会社

草加工場

048-936-3033